

# 区政のここが聞きたい

## 第4回定例会一般質問(要旨) 11月25・26日

※本会議と予算・決算特別委員会の録画中継を、区議会ホームページで公開しています。

思いやりと感謝で築く  
豊島区に



自民党豊島区議員  
里中 郁男

●統一地方選挙に臨む姿勢について

問 区長の5選出馬は。

答 私に力の限り、全身全霊を豊島区に捧げ、今日まで取り組んできた諸課題を含め画竜点睛を欠くことなく、前途遼遠たる豊島区政を引き続き担わせていただきたく、出馬を決意した。

●区財政について

問 国の動向が区財政に及ぼす影響は。

答 地方法人課税の見直しによる法人住民税の一部国税化により、27年度当初予算に影響を受ける。法人住民税の法人税割税率が引き下げられ、財調交付金が大幅に減収した場合、減収額は11億円余と見込んでいる。また、法人実効税率が引き下げられた場合、区への影響は1%の引き下げで約3億円が減収する。消費税の引き上げが延期された場合、歳入では地方消費税交付金が直接影響を、歳出では社会保障制度の充実策に影響がでる。

問 27年度当初予算における財源対策の見直しは。

答 現時点では、歳入総額と歳出総額の見通しが困難。財源対策が必要となるのか否かを答えることはできないが、減少する財調基金以外の特定目的基金や起債の十分な活用を図り、当初予算が編成できるよう努力する。

問 27年度から29年度までの「予算の大枠」の策定は。

答 当初予算編成作業の際に行った各種推計をもとに策定。今後、歳入歳出両面において、的

確な情報収集等を行い、中期財政計画としての策定が可能となるよう尽力する。

問 31年度時点までの中長期的な財政運営の見直しは。

答 新ホール整備等、大規模な施設建設事業に着手する予定。財調基金等の更なる積み増しと、可能な限りの取り崩しを行い、計画的な財政運営を心がける。

●福祉について

問 現時点における介護や医療の課題への国等の対応、あわせて区の対応は。

答 社会保障給付の財源に限界があること等を踏まえると、見直しが避けられない状況。国は、社会保障の機能強化と給付の重点化・効率化、安定財源の確保と財政健全を同時達成する見直しを進めている。区も地域における医療・介護の関係機関が連携し、鋭意取り組んできた。今後も、住み慣れた地域で自立した生活を営むことができるよう、あらゆる手段を模索していく。

問 区民の不安に方向性を示せるような具体的な取り組みは。

答 認知症に対する取り組みは、家族を支える施策として、もの忘れ相談事業等を実施してきた。認知症の懸念のある方が受けることができる支援には、どのようなものがあるかを示す認知症ケアパスを今年度中に作成する。

問 特別養護老人ホーム及び老人保健施設の今後の整備は。

答 2カ所の特別養護老人ホーム、ショートステイあわせて28

床の整備の見通しが立っている。

今後、都において整備される特別養護老人ホームへ、区民が入所できるよう都との連携に努めていく。入所希望者の登録制度は、登録期間の見直しを検討。医療法人社団が南池袋四丁目を整備する150床の老人保健施設の地元説明会を開催した。法人との連携に十分に意を用いていく。

●無電柱化の取り組みについて

問 無電柱化の今後の流れは。

答 法制化の準備段階と聞いている。27年度中に区の無電柱化推進計画を策定する予定。

### 新しい時代のとしまづくりを区民とともに



公明党  
木下 広

●今後の区政運営について

問 新庁舎完成後の財政運営について、基本的な考えを伺う。

答 一時的に起債残高が基金残高を上回るが、財政調整基金残高の回復をはじめ、他の基金の積み増しを行い、計画的かつ慎重な財政運営を心がけていく。

問 区民との協働の姿勢について、また、行政情報の一層の公開についての見解は。

答 としまF1会議など、区民との協働が一層進んだものと感じている。また、ホームページからの情報入手を容易にする。

問 4期16年にわたる区長としての総括は。

答 着任時、極限状態だった財政の健全化にめどを立て、70周年には文化創造都市、80周年には安全・安心創造都市のまちづくりに取り組み、いよいよ豊島区が世界に向けて羽ばたくとき。

問 区が抱える課題を取り上げ、新たな都市像には電柱のない街がふさわしく、そのため無電柱化を最優先と位置付けていること。そして、将来的には区内全域を無電柱化し、電柱ゼロ都市宣言を行いたい。



無電柱化の取り組み

今後も区の発展のため、全力を尽くす覚悟である。

●住宅施策について

問 タウンコレクティブ支援事業、シングルマザー支援事業の進捗状況は。

答 前者は物件の確保に努めているところ。後者は3世帯の入居実績があり、事業の充実に努めている。

問 都建築安全条例の改正案をどのように捉えているか。

答 多様な住まい方に対応できるきめ細かい基準であり、シェアハウス等への転用が容易にな

### 国の悪政の防波堤となり、区民を守る予算編成を



日本共産党  
渡辺くみ子



長崎公園

ると考えている。

問 子育てファミリー世帯家賃助成事業の助成期間の延長により、所得制限を超えてしまう課題についての見解は。

答 現在の所得の上限は適正なものだが、実績の推移を見守る。

問 区民住宅について、入居継続についての説明会を早急に行うべき。また、区民住宅間での転居に柔軟な対応を求める。

答 状況に応じた説明会、個別相談等を検討している。区民住宅間での転居については、オーナーの意向を踏まえ、対応策について検討していく。

●長崎公園の近隣住民の安全確保について

問 トイレ周辺の照明新設、警察の取り締まりなど、近隣区民の安全の確保を強く求める。十分な対応が取れない場合は、西側の閉鎖を要望せざるを得ない。

答 街灯の配置変更、警察の警ら活動の強化を申し入れるなど、区民の安全の確保に取り組む。

税の中止を国に求めるべき。

問 10%増税反対の考えはない。4月からの消費税8%増税

は障がい者施設や団体の運営を悪化させている。区の補助事業や助成金に消費税分の増額を。消費増税の負担増は全ては課税対象行為に及ぶもので増額は考えていない。

問 子どもの貧困は深刻。就学援助の認定基準と単価を区独自に引き上げることを求める。

答 区独自の認定基準と単価引き上げの考えはない。

●来年度予算編成にあたり取り組むべき課題について

問 待機児問題は深刻。廃止予定の高松第一保育園は改築し活用すべき。建築計画の具体化を。

答 他に保育施設誘致の見込みがあり、高松第一保育園跡地を保育施設に活用する考えはない。

問 「待機児ゼロを達成」のため、思い切った予算化をすべき。

答 現在策定中の「子ども・子育て支援事業計画」で29年度までに約1000名分の保育施設の受入枠を増やす方針を固め、必要な経費についても予算化していく。

問 高すぎる国民健康保険料を下げるために、一般会計の繰り入れ削減は中止すべき。また国庫負担の大幅増額を国に求めよ。

答 一般会計繰り入れ削減はやむを得ないと判断。国に財政基盤の改善等引き続き要望する。

問 条例に基づき保険料の減免を実施すべき。

答 減免制度の重要性は認識しているが、適切に適用すべきものと考えている。

問 生活保護費の住宅扶助引き下げに反対の意見を国に上げよ。

答 区長会で要望を提出した。法外援護として区独自の家賃補助制度の創設を求める。

問 現時点では考えていない。商店街支援策としてLED

設置補助制度と一時立替分への無利子融資制度の創設を求める。

問 現時点で制度創設の考えはない。今後LED未導入の団体については対策を検討する。



LED導入の商店街

問 高齢者おむつ支援事業の年令、介護度、所得制限は撤回を。

答 現時点で撤回はしないが、今後、検討することを考える。

問 「非核都市宣言」区として平和事業予算の大幅拡充と新庁舎内で平和事業イベントの実施を。

答 新庁舎内でのイベント実施等新年度予算編成で拡充を検討。

●安心して利用できる介護保険について

問 医療・介護総合法で要支援事業は保険給付から新総合事業に移行する。現行のサービス水準を低下させないよう求める。

答 移行後も、サービス水準を維持するように努める。

問 特養ホームの補給給付縮小の撤回の意見を国に上げよ。区独自の救済措置の検討を。

答 国へ意見は上げない。また区独自の救済策の検討はしない。

問 6期事業計画で来年度からの介護保険料は上げないこと。

答 保険料の引き上げはやむを得ないと考える。

●街づくりについて

問 都の再開発促進地区に指定された雑司が谷地区まちづくりは住民とともに策定すべき。現在の街並みを残すべき。

答 地域の方々と共に課題を解決していくことが街づくりの基本と認識している。

区民が育てる豊島の未来



自治みらい 村上 典子

●「国際アート・カルチャー都市」と区民の暮らし

問 今後、国家戦略特区に認定されると大資本流入により、区内中小企業への影響も大きいのでは。区の産業支援体制は。

答 持続発展都市推進本部で、文化商工部長の指揮下に産業振興策の充実強化を検討実施する。

問 国家戦略特区制度の活用による規制緩和の具体的内容は。

答 具体的内容の検討は今後の課題。区がアート・カルチャーの拠点としてクリエイティブ産業を引き寄せるイメージである。

答 同様の施策を実施中の自治体との連携、互いに観光客を増やせるネットワーク構築が理想である。

●若者支援のあり方について

問 ひきこもりの若者への、今後の支援体制は。

答 訪問相談支援等、都の事業を積極活用し新施策を検討する。

問 子どもが自尊感情を育むための教育についての考えは。

答 大人が子どもに対し、愛情を込めた、認め合い高めあう人間関係づくりを繰り返すことが重要。それにより、自他を尊重する感情が育つものである。

問 義務教育の中で、労働法を学ぶ機会を設けてほしい。

答 キャリア教育の重要性は強く認識している。授業での基礎知識習得以外にも中学校2年生全員が職場体験活動に参加しており、保護者からの評価も高い。



中学生の職場体験活動

問 若者専門の窓口の設置と一貫したサービスの提供を望む。

答 一元化は効果的な反面、専門性の高さや人員配置等の課題がある。新庁舎移転後の相談体制充実に合わせて、適切な案内に努める。

問 庁内関係部署、区内団体との連携は。

答 生活困窮者自立支援推進委員会の設置により庁内関係部署

の連携を強化。地域のコミュニティソーシャルワーカーを更に活用し、施策の充実を図る。

●参加と協働について

問 今後区が構築する地域包括ケアシステムでは、区民の参加と協働をどう実現するのか。

答 区民向け講演会、勉強会や高齢者総合相談センターにおける「地域ケア会議」を通じて、区民主体の活動につなげている。

問 次期基本計画では横の連携のとれた施策を、ぜひ実現してほしい。

豊島区政のさらなるスリム化を目指して



みんなの党 古塚 稔人

●豊島区基本構想・基本計画について

問 策定後の10年をも見通せない中、基本計画策定は必要か。

答 区政推進の上で不可欠の要素と考え、条例により策定を義務付けている。

問 次の基本計画では、しっかりとした財政予測・財政計画を示すべきである。見解は。

答 特に歳入については正確な予測は困難だが、財政面からの検証は不可欠と認識している。今後も鋭意研究する。



豊島区基本計画

問 次期基本計画での公共施設等総合管理方針の示し方は。

ほしい。

問 セーフコミュニティの大前提である「平和」への区長の思いは。

答 未来の子どもたちに平和で豊かな地域社会を引き継ぐため、戦争のない誰もが安心して暮らせる社会の実現を強く望む。

問 次期基本計画に反映する内容としては、施設等の安全な維持管理、効率的、計画的な更新が主になると想定している。

●公会計改革への対応について

問 公会計改革についての区の見解は。

答 行政の透明性が向上するとともに、正確な行政評価が可能となり事業の効率化が進む。導入の準備のため「公会計研究会」を設置し、検討を進めている。

●現庁舎跡地活用について

問 現公会堂の代替としての新ホールは不要。ホール整備は区民に有利な提案を阻んでいる。

答 民間事業者にとつては魅力的な要素であり、提案の足かせとなっている認識はない。区民が芸術に触れる様々な機会を用意することは必要である。

問 新ホール整備にかかる経費は、むしろ子育て環境のさらなる充実に使うべきである。

答 公会堂は新たな街づくりの中心的役割を担っており必要性は高い。全体的な行政需要バラ

ンスを取りつつ、子育て環境の整備にも重点的に対応している。

**問** 優先交渉権者の提案内容と地代収入見込みを報告できる時期はいつか。

**答** 現時点では、今年度末に決定し、業者名と提案概要を議会に報告する予定である。

**肺炎球菌ワクチンの定期接種化についての周知徹底、銭湯の利向上施策とユニケーションスペースとしての活用推進を。**



無所属元気の会  
**小林 弘明**

●高齢者肺炎の重症化を防ぎます。高齢者を対象とした肺炎球菌ワクチンの定期接種化について、区民への周知徹底と接種率向上を。

**問** 区の高齢者の死亡原因に占める肺炎死者の数、割合は。

**答** 平成25年度高齢者死亡者のうち、肺炎は190人、9.4%。

**問** 肺炎という病気や、それに対する予防、治療、早期受診の周知や啓発活動は。

**答** 高齢者を取り巻く家族や地域全体で、高齢者肺炎対策に取り組めるよう努めていく。

**問** 銭湯を利用した家族間ユニケーションについて、区が行っている施策は。

**答** 親子対象のイベントで入浴券を配布するなど、銭湯に来てもらう仕組みを検討している。

**問** 銭湯を利用した家族間ユニケーションについて、区が行っている施策は。



肺炎球菌ワクチンの接種

**「2020年に向けたまちづくり」**



自民党豊島区議員  
**竹下ひろみ**

●東京オリンピック・パラリンピック開催の意義と豊島区の将来像について

**問** 会場のない本区にとり、オリンピック開催の意義は。

**答** オリンピックを機に、アート・カルチャー都市豊島区を国際的に発信し、新たな観光や地域の活性化につなげていく。

**問** 国際アート・カルチャー都市実現に向けた具体的な取り組みについて

**答** プロデューサーの人選と期待する役割は。

**問** 幅広いジャンルで活躍され、区との関連を考慮して、人選した。世界中から人や企業が集まる都市の実現に大きな力を発揮していただくことを期待する。

**問** 文化芸術活動の今後の展開

**答** 区市として、東京観光の一大人気スポットになっていく。

**問** 都市として、東京観光の一大人気スポットになっていく。

**問** 都市として、東京観光の一大人気スポットになっていく。

は。

**答** クールジャパンのショーケースとしてアピールし、地域の活性化につなげていく。

**問** 新たな観光資源の取組みは。

**答** 区内の観光資源を巡り歩く観光コースやグルメマップの開発を検討する。

**問** 外国人向けの情報提供は。

**答** 観光協会との連携をより密にした改善を図る。



豊島区国際アート・カルチャー都市

●2020年に向けたまちづくり施策について

**問** オープンカフェ実証実験の評価と今後の展開は。

**答** 課題の整理と、常設化の足がかりになった。新庁舎開庁にあわせ2度目の社会実験を行う。

**問** 池袋駅前の歩行者優先と安心して回遊できる歩行者空間の確保は。

**答** 駅と駅前空間の改善は、池袋副都心再生の大きな課題であり、総合的な視点から取り組む。

●スポーツ振興策の現状と今後について

**問** スポーツ推進計画の特徴は。

**答** 策定委員会が検討しており、区独自の目標を設定するなど本区らしさを盛り込んだ計画。

**問** 体育施設の使用料引き下げとスポーツ推進計画の目標との関連は。

し上げ、計画の柱となる「スポーツで人と地域がいよいよと輝くまちへ」と導く一助となる。

**問** 道路や公園の利用ルールの柔軟化に向けた検討は。

**答** 自転車の安全走行と自転車利用者の意識向上に努めると共に、今後、公園の利用ルールの検討を行う。

●オリンピック・パラリンピックを視点にした教育について

**問** オリンピック・パラリンピック教育の基本的な考え方は。

**答** 価値ある感動を世界の人々と共有できることは、教育都市

**2020オリンピック・パラリンピック東京開催へ向けて！**



公明党  
**辻 薫**

●国際アート・カルチャー都市構想について

**問** オリンピック文化プログラムとしての取り組みは。

**答** いち早くアート・カルチャーを世界にアピールしていく。

**問** 実現に向けて区の決意は。

**答** 構想実現の先頭に立って、豊島区、そして日本の明るい未来を切り開いていく。

●繁華街の安全対策について

**問** 客引きに関する苦情件数の推移は。

**答** 池袋駅周辺は大幅に増加。警備会社等による恒常的なパトロールの実施を提案する。

**問** 客引き等の不正行為を防止するパトロールを実施する。また、新たに罰則を設けるなど、豊島区生活安全条例を改正し、先進的な施策によって池袋駅を中心とした繁華街から、客引きやスカウトの一扫を図っていく。

●自転車の安全利用について

豊島の向上に繋がる。

**問** おもてなし教育の推進は。

**答** 児童・生徒からアイデアを募り、ボランティア活動や社会貢献活動の具体化を図る。

**問** ふるさと学習プログラムの推進は。

**答** 豊島区オンリーワンの「おもてなし」に直結する。小・中学生がガイドボランティアとして活躍できる取組みを進める。

**問** 体力・運動能力向上に向けた取組みは。

**答** 体力向上推進プロジェクトを立ち上げ体力向上に役立てる。



思いやりゾーン

**問** 交通安全教室を実施している町会は。

**答** 3町会が実施している。

**問** 町会、自治会主催の交通安全教室の開催をより推進すべき。

**答** 町会単位での交通安全教室の実施は、世代を超えて交流ができ、世代間の違いによる行動パターンを理解することで交通事故防止につながる。今後は、警察署と連携して町会、自治会主催の交通安全教室にも取り組んでいく。

**問** 東京都との連携の中、自転車レーン整備を要望する。

**答** 東京都との連携の中、自転車レーン整備を要望する。

**将来に禍根を残す大型開発をやめ、くらし最優先の区政に**



日本共産党  
**森 とおる**

●新庁舎資金計画が区財政に及ぼす影響について

**問** 新庁舎の保留床購入の財源は、現庁舎地の民間企業貸付けであるが、当初は50年で40億円

都の動きも注視しながら、都へより良い整備方法について働きかけていく。

**問** 既存の駐輪施設にも自転車の間隔を広めた「思いやりゾーン」の設置を。

**答** 駐車需要と供給のバランス、設備の状況を踏まえながら導入を進めていく。

**問** 既存の駐輪施設の利用率向上のため、施設改良を要望する。

**答** 利用率向上や利便性に配慮した施設改修を検討していく。

●子ども施策について

**問** 私立幼稚園児保護者負担軽減助成金の拡充を図るべき。

**答** 実施に向け、平成27年度予算編成の中で検討していく。

**問** 子どもの体力及び運動能力向上のため、公園等を活用してボール遊びが出来る取り組みを。

**答** プレーリーダーの見守りのもとでボール遊びができるようにしていきたい。

を見込んでいたが、70年で40億円に悪化した。なぜ区民に説明しないのか。

**答** 収支が変動するのは当たり前で、区民には説明してきた。



造幣局東京支局

**問** 当初10億円の黒字と言っていたが、現在の収支は。

**答** 過去に試算した収支を同じ条件で試算するのは意味がない。税金を使わない、借金をしないと言ってきたのに、財政調整基金の大半を新庁舎の支払いに充てることについて区民への説明はどうなのか。

**問** 現庁舎地活用の地代収入が入ってくるまでのつなぎであり、説明することは考えていない。

**問** 地代収入が入るのは早く2年半、最長5年である。その間、区民の切実な需要に対応できなくなるのではないか。

**答** 財政調整基金は半年後には50億円程度に回復する見込みで対応できる。

**問** 新庁舎の支払い14億円だけでなく、新ホールと周辺整備に14億円以上を投入しようとしているが、区財政は破綻し将来に禍根を残す。白紙撤回し、区民合意で総合的にやり直すべき。

**答** 池袋の魅力を高める投資で、区民の意見を伺ってきた。白紙撤回はまったく考えていない。

**●造幣局移転後の跡地活用について**

**問** UR主体で民間整備が1.5ヘクタール、区の防災公園整備が1.7ヘクタールとなっているが、区民不在の計画ではないか。

**答** 計画の策定に当たっては、多くの区民の意見を反映した計

画であると考えている。

**問** 防災公園整備区域は拡大し、高齢者施設、保育園、公営住宅等を盛り込み、土地全体を公共施設として計画し直すべき。

**答** 保育所は検討するが、高齢者施設や公営住宅の考えはない。

**●特別養護老人ホームの入所について**

**問** 特養ホーム申込み1年ごとの更新が設定されたために、申込み忘れなどによる入所選考漏れが発生している。この実態をどう捉えているのか。

**答** 申請漏れが起きないように工夫が必要であると考えている。

**問** 1年ごとの更新は撤廃し、元の申請方法にもどすべき。

**答** 更新を2年に1度とするなど方法等について検討する。

**問** 国が介護保険制度を改悪しても、これまで通り要介護1から入所対象とすべき。

**答** 特例的に入所が必要とされる道も用意されており、適切に対応する。

**問** 来年2か所の特養ホーム開設では足りない。ただちに増設計画の具体化を求める。

**答** 入所できる待機期間を圧縮できるように、全力を傾ける。

**●コミュニティバスの実現について**

**問** コミュニティバス実現に向けた方針を明確にすべき。

**答** 公共交通不便地域もあり、コミュニティバスも含めた交通政策を検討する必要がある。

**問** 来年度予算の具体的中身は。

**答** 基礎データ調査費用を計上。地域公共交通会議は区民の意見が反映されるように代表枠を拡大し新たに公募すべき。

**答** 会議の中で決められていく。

「すべての区民が快適に過ごせる豊島区づくりに向けて」



自治みらい 石川 大我

**●新庁舎オープンに向けて**

**問** 新庁舎で、再生可能エネルギーを使用した新電力導入が決定されるのはいつごろになるか。

**答** 年間の電気使用量が推定可能になる2、3年後に検証を実施し判断する。

**問** バリアフリーについて、オープン前に障害者当事者の意見を聞くことは予定しているか。

**答** 障害者や区民から要望をうかがい、可能な限り対応する。

**問** 新庁舎は完全禁煙の方向で計画が進んでいる。1、2階の飲食テナント部分も完全禁煙の協力を申し入れ「完全タバコ・フリー」な新庁舎としてスタートを切ってほしい。

**問** 区内の飲食店等に対し、区が独自に店舗の禁煙化を働きかける取り組みを実施する方向で検討しており、新庁舎の1、2階の店舗についても禁煙の努力を請うたい。

**問** 新庁舎周辺での路上喫煙増加に対する懸念に対し、新庁舎周辺を「さわやかな街づくり重点区域」として管理すべき。

**答** 路上喫煙増加への懸念は周辺住民より寄せられており、「さわやかな街づくり重点区域」として拡大する方向で検討する。

**問** 飲食店への禁煙奨励のため、豊島区と保健所のマーク入りの「全面禁煙」を表示するポスターなどの作成・配布を提案する。

**答** 本区は多くの飲食店を抱え、今後さらなる来街者の増加が見込まれることから、ご提案のポスターなども含め検討していく。

**●多様性(ダイバーシティ)の推進とハラスメント防止について**

**問** 少子化による学級数減少に伴い、少人数になった学校の先生の間で、パワハラが起りやすい現状がある。

**答** ハラスメントに陥らない自己評価、相互評価の確立により風通しを良くしていく。

**問** 高齢女性、障がい女性、同性愛者などの複合的な困難を持つ人や、LGBTへのハラスメントにたいしてはどのように対応すべきか。

**答** 複合的な困難を持つ方やLGBTへのハラスメントについて、区民や職員に対し意識啓発、研修の実施などをしていく。

**●LGBTの権利保障について**

**問** 区職員で、同性パートナーへの保障はあるのか。忌引きなど保障すべき。

**答** 区職員の配偶者に関する休暇制度としては、介護休暇、慶弔休暇などがあり、事実婚の場合においても対象となる一方、同性パートナーの場合については、現状では適用が困難であると考え、社会通念の変化や



多様性(ダイバーシティ)の推進を

世論の動向を見極めて判断する。

**問** 同性カップルの区営住宅入居への検討状況は。

**答** 同性カップルの区営住宅入居については、関係法令や各行政分野での性的マイノリティに関する考えなど、総合的に判断すべき事項であり、引き続き検討していく。

**問** 区営住宅条例にある「婚姻

**健康で安全・安心なまちづくりを目指して13**

**●危険ドラッグに関して**

**問** 条例制定後、周囲の自治体への呼びかけやモデルケースとしての取組みは。

**答** 危険ドラッグ販売店「ゼロ」宣言を行い、成果を全国に発信することで、危険ドラッグ対策強化を周囲の自治体に呼びかけたい。また、警察や教育委員会と連携し、若年層に対する指導啓発活動の強化、各年代層に応じた薬物乱用防止教室の開催等、全国自治体のモデルケースとして「範」を示していく。

**問** 保健所の業務時間外に相談できる窓口対応は。

**答** 「東京都夜間こころの電話相談」が開設され、こころの問題全般に関する相談受付が可能。啓発時に相談先の明記を要望する。区の見解は。

**問** 条例制定にあわせ新たなリーフレット等を検討予定であり、相談窓口の一覧を掲載したい。

**●まちづくりに関して**

**問** グリーン大通りオープンカフェ社会実験の成果や今後の方針について、区の見解は。

**答** 利用者、協力店舗とも多くの意見があり、利用者の98%の届出をしていないが、事実上の婚姻関係と同様の事情にある者」に同性カップルを含める案について、見解は。

**答** 当該条項は、婚姻制度がある異性同士の事実婚を想定している。同性婚を認めていない現行の法制度上では、同性カップルにそのまま適用することは、判断が難しい。



みんなの党 関谷 一葉

方から「常設化してほしい」とアンケート結果があった。可能なものから2回目の実証実験に反映させ、快適でしやれた都市空間の演出と訪れる人を魅了する街づくりを目指す。

**問** 近隣区と連携したコミュニケーションサイクルの導入は。

**答** 自転車の新たな利用方法として、広域的に利用できる交通サービスであると認識している。近隣区や都の動向を注視し、調査研究を行う。

**問** リノベーションまちづくりに関して、区の今後の展望は。

**答** 区内の遊休不動産を活用する。北九州市の民間主導の公民連携型手法を取り入れたい。また、「リノベーションまちづくり基本構想」制定し、基本構想に基づき、事業展開を図る。



グリーン大通りのオープンカフェ